

中国の大学における教養教育の位置づけ

史, 媛媛

九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻 : 博士課程

<https://doi.org/10.15017/7385169>

出版情報 : 国際教育文化研究. 13, pp.137-147, 2013-07-26. Comparative and International Education, Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



中国の大学における教養教育の位置づけ

史 媛媛

はじめに

本稿の目的は、現在の中国の大学における教養教育を位置づけるために、中国の大学における教養教育の変遷に着目し、教養教育の理念を探究し、世界の大学教育改革の動向を考察し、中国政府側、社会企業側から大学教育への要求を検討することである。それらを踏まえて、現在中国で大学の教養教育がどのように位置づけられてきたかを明らかにする。

中国では、1990年代に入り、計画経済から市場経済への移行や、閉鎖的社会から開放的社会への転換に伴って生じた急激な社会変動の中で、高等教育は大きく変貌を遂げつつある。中国のWTO加盟以降、カリキュラムの国際化は中国の大学通用性と国際性の向上及び国際的な人材育成にとって重要な手段の一つとなっている。世界一流の大学の創設ための「211工程」および「985工程」より、中国における高等教育の発展と質の向上が大いに図られ、中国と先進諸国との高等教育水準の差は大幅に縮小され、学士課程のカリキュラム改革が進行中である。特徴的な点として、専門教育カリキュラムの幅の拡大という措置を突破口として、教養教育(通識教育)の復興を目指す学士課程のカリキュラム改革が挙げられる。例えば、2000年9月に、中国で最も有名な学府である北京大学は、アメリカのハーバード大学のコアカリキュラム・モデルを模倣して「教養教育課程」を開設し、学士課程段階で教養教育を実施する試みが始まった。2007年に北京大学では最初の非専門の学部である「元培学院」¹が正式に創立されている。また、北京大学のみならず、復旦大学などの重点大学において教養教育を重視した学士課程のカリキュラム改革も行われている。その中で、大学の教養教育を改善するため、復旦大学の復旦学院、中山大学の博亜学院、南京大学の匡亚明学院、浙江大学の竺可贞学院などのそれぞれの新しい学院(プログラム)が創られた。そこで、現在の中国の大学において、教養教育を中心とし、大学教育の改革の研究をと通して、中国の大学における教養教育の位置づけを検討する。

本論では、第1章では、歴史的な視点から中国の大学における教養教育の変遷を考察する。第2章では、現在の中国の大学における教養教育の教養教育の理念を検討する。第3章では、世界大学教育と教養教育改革の動向を考察し、中国政府及び社会企業からの要求を考察して、現在の大学教育の中で教養教育の位置づけを明らかにする。

1. 教養教育の変遷

本節では、中国の大学における教養教育を考察する際、高等教育の変遷を軸に時代区分していく。楊東平(2003年)によると、大きく5つの区分が考えられる。第一は、近代高等教育の成立期(1898～1949年)、第二は、新中国成立と旧ソ連制度の導入期(1949～1957年)、第三は、文化大革命と毛沢東の教育政策(1965～1978年)、第四は、社会主義市場経済への変革対応期(1978～1990年)、第五は、21世紀の高等教育の模索期(1990～)である。以下、楊東平『難しい日の出：20世紀の中国の近代教育』の研究を基に順にその特徴と変遷を示していく。

1-1 近代高等教育の成立期(1898～1949年)²

1898年に北京大学は近代の大学として初めて設立された。当時、中国の教育と高等教育は西洋方式を取り入れている。具体的には、1904年1月に公布された「癸卯学制」³、即ち「奏定学堂章程」は、日本の明治維新後に作られた教育制度を手本としたものであり、これにより中国初の近代教育制度が確立された。1912年と1913年に相前後して制定された「壬子・癸丑学制」から、1922年11月に公布・実施された「壬戌学制」に至るまで、中国の教育は日本だけではなく、米国に学ぶようになった。20年代後期に蔡元培が教育総長を務めていた時、フランスの教育体制を真似て、大学区制を実施したことがあるが、全体的に言えば、民国時代の高等教育は主に米国のモデルを移植したものである。教養の理念とカリキュラムなどの高等教育制度も導入された。北京大学学長として蔡元培によって、大学思想は大学というのは、思想の自由と「兼容並包」(全てのものをことごとく包容するという意味)の学府である⁴。清華大学の学長として梅贻琦によって、大学教育は教養教育が基本的であり、専門教育が発端である⁵。

1-2 新中国成立と旧ソ連制度の導入期(1949～1957年)⁶

1949年に中華人民共和国が成立すると、教育制度のモデルは旧ソ連方式に改められ、計画経済に対応する高等教育制度体系が導入された。1950年代初期におけるソ連モデルを模倣した改革によって、教養教育重視から専門教育偏重へと転換した。そこで1952年から1957年にかけて、大規模な大学学部調整を行い、総合大学と専門単科大学の特質と責務を明確にし、とりわけ工科大学の建設に力を入れた。その結果、中国高等教育はアメリカのパターンからソ連のパターンに移行し、実用を強調し、理論は軽視された。当時は専門性の幅が狭いという欠点もあり、教養教育は廃止された。

1-3 文化大革命期(1956～1977年)⁷

1957年以降、中ソ関係の悪化と国内外の状況の変化によって、中国高等教育は外部世界から孤立した。1956年から始まった「文化大革命」により、1966～1976年の間、大学の政治的な役割を過度に強調したため、中国の高等教育は政治運動の一環となり、教育研究活動は停滞された。その結果、当時中国の高等教育と教養教育の発展は大きな影響を受けた。その後、教養教育は資本主義教育に属するものとみなされるようになり、大学のカリキュラムから抹消された。

1-4 社会主義市場経済への変革対応期 (1978～1990 年)⁸

1977 年末に長年中断されてきた大学入試制度が復活した。1978 年以降、中国は思想解放と改革・開放によって新たな発展の原動力を手に入れ、経済体制の改革がまずスタートして突破口が開かれ、社会主義市場経済改革の目指す方向を徐々に確立し、計画経済体制下で作られた高等教育管理体制・構造のモデルを突き破った。そのため、市場経済である新しい時代のニーズに適応した人材育成を行うことになった。しかしながら、1980 年代初期の中国の高等教育は「教養教育に至るまでにまだ光年のような距離があり、教養教育の復興はユートピアのような空想である」と指摘されている。

1-5 21 世紀の高等教育の模索期(1990～)

中国では、1990 年代に入り、計画経済から市場経済への移行や閉鎖的社会から開放的社会への転換にともなって生じた急激な社会変動の中で、高等教育は変貌を遂げつつある。また、中国が WTO(world trade organization)に加盟して以降、カリキュラムの国際化は中国の大学の通用性、国際性を向上させ、国際的な人材育成の重要な手段の一つとなっている⁹。1993 年に提唱され、1995 年から実施された「211 工程」プロジェクトは、21 世紀に向けて、100 校程度の高等教育機関と分野の多方面にわたって重点的に支援することを目的とするプロジェクトである¹⁰。そして、「985 工程」において、1998 年 5 月 4 日、中国の国家主席である江澤民が北京大学の創立 100 周年の会議、「中国で世界一流大学を建設しなければならない」と宣言したことから始まったプロジェクトである¹¹。「985 工程」の主要なコンセプトは、「世界一流の大学の創設」である。「211 工程」プロジェクト及び「985 工程」プロジェクトの実施により、中国における高等教育の発展と質の向上が大いに図られ、中国と先進諸国との高等教育水準の差は大幅に縮小された。中国の大学の発展と質を向上させるため、学士課程のカリキュラム改革が行われている。もっとも特徴的な点として、専門教育カリキュラムの幅を広げるという措置を改革の突破口として、教養教育を重視した点である。2000 年以降、北京大学などの重点大学を中心とした多くの大学では、学士課程段階で教養教育を実施する試みを開始している。

2. 教養教育の理念

中国の教養教育の理念を探求するために、本節では伝統的な文化と海外からの思想の二つの側面から論じていく。

2-1 伝統的な文化

中国の教養教育の研究と実践の中で、通識教育という用語がよく使われている。本稿では、教養教育を通識教育と同じ概念を示すものとして扱っている。中国では「通識」という用語は、孔子の教育思想に起源を持ち、通の意味は「総合連接」であり、識の意味は「知識」である¹²。孔子を中心としての儒学家の思想には、「君子」は全面的に発達され、自分自身で改善される人であり、ゼネラリストである¹³。孔子の「君子無器」という意味は、西洋の「紳士」と似ている¹⁴。君子たる者は人間の多様性、すなわち各人の全面の発達ではなく各人それぞれに特殊な

才能の発揮を尊重するという考えを孔子は持っており君子は「其の人を使うに及びてや、之れを器とする」¹⁵、小人は「其の人を使うに及びてや、備わるを求む」(子路篇)¹⁶と記されているように、こういう自戒するほど古典そのもの、また古典的教養を尊重し、それを通じての自己形成をもとめたこと「子のつねに言うところは、詩、書、執礼、皆つねに言う也」述篇、「子曰わく、詩に興り、礼に立ち、楽に成る」(泰伯篇)¹⁷と記されている。周知のように、中国文化に基づいた教育の伝統では技術的な専門家を育成すること軽視、幅広く古典的な孔子などの思想を学ぶことが重視されていた(Levenson 1969)¹⁸。約 2000 年間に於いて、儒学思想を有する中国では、教育の目的は全人を育成することであり、また、人文主義の視点、価値観教育、道徳教育および美学教育などが重視されていた。

現代の大学教育も古代の伝統的な文化、主に儒学思想をもっている。しかしながら、現在の中国大学教育と古代の教育の本質や背景は同じではない。すなわち、古代の儒学の教育は「君子」を育成しているエリート教育であるが、現代の大学教育は大衆化教育の段階になっている。また、古代の教育が男性だけを対象としていたが、現代の大学教育では男女平等になった。

2-2 海外からの思想

現在の中国の教養教育の理念には、伝統的な文化からの影響だけではなく、海外からの影響もある。ここでは二つの根拠から論及する。まずは、近代の中国の大学において、西洋の思想から影響されている北京大学の蔡元培の大学理念と清華大学の梅贻琦の理念である。北京大学学長として蔡元培によって、大学思想は大学というのは、思想の自由と「兼容並包」(全てのものをことごとく包容するという意味)の学府である¹⁹。清華大学の学長として梅贻琦によって、大学教育は通識教育が基本的であり、専門教育がそこから派生したものであることとされた²⁰。次に、現在の国際化の動向を受け、国際的な基準を達成し、「世界一流大学の建設」に応え、中国の重点大学では学士課程教育、教養教育の改革が行われている。その中で、北京大学の元培プログラムが注目されている。その元培プログラムは米国から模倣されたものである。米国の教養教育は一般教育(general education)と呼ばれているが、ここでは米国の一般教育の理念を、以下のようにまとめる。

第一は理性主義(rationalism)である。理性主義の哲学的立場から、教養教育の理論とは、古代ギリシア源流のリベラル教育を持ち、理想的人間を目指し、リベラル・アーツ・古典・名著講読の教育方法を用いている。そのなかで、大学生が永久に変わらない理性的人間の問題を解決するために古典名著を学んでいる。

第二は新人文主義(neo-humanism)である。新人文主義の哲学的立場から、ルネサンス以来の人文主義に基づき、総合コース、またはコア・カリキュラムを採用し、総合思考能力を育成し、全体の人間を達成する。

第三は道具主義(instrumentalism)である。道具主義の哲学的立場から、J.デューイのブラグら問題解決学習として、問題解決能力を培養し、実践的人間を達成する。

表1 アメリカの大学における一般教育の代表的な哲学的立場

哲学的立場	人間像	特徴的な教育方法	主な思想的背景
理性主義 (rationalism)	理性的人間 (真理感覚)	リベラル・アーツ 古典・名著講読	古代ギリシア源流のリベラル教育
新人文主義 (neo-humanism)	全体的人間 (総合思考能力)	総合コース コア・カリキュラム	ルネサンス以来の人文主義
道具主義 (instrumentalism)	実践的人間 (問題解決学習)	問題解決学習	J. デューイのプログラマティズム

出典：一般教育カリキュラムの改革モデル——哲学的立場の多元性を背景として——、大学教育研究の課題：改革動向への批判と提言、一般教育学会編、玉山大学出版部 1997 p.296

表1に掲げる 30 年前のアメリカの大学における代表的な三つの哲学的立場は、現代の知的活動や学問・教育に対し、活動分野等の相違に応じて成立つ基本的なものとしてよい²¹。それらは、基本的なものが故に、今もなお成立し通用しうるのである²²。

中国の大学の教養教育の理念には以上の米国の三つの哲学理論が影響を与えている。しかしながら、その中で、他の理念よりデューイのプログラマティズム、つまり進歩主義からの影響が一番強いと思われる。

3. 現在の教養教育の位置づけ

先述したように、五つの段階から中国の大学における教養教育の変遷を検討し、また中国伝統的な儒学思想および西洋の一般教育の概念という二つの側面から中国の大学における教養教育の理念の特徴を論じた。それらに基づいて、現在中国では大学の教養教育がどのように位置づけられるかを検討する。その中で、初めに世界大学教育改革の動向を論じて、次には中国政府からの政策、報告書などから分析し、そして社会の企業からの要求を考察し、最後は現在の大学教育の中で教養教育の位置づけを検討する。

3-1 世界の教養教育改革の動向

OECDのPISAは知識の詰め込みではない新しい学力観を共有して、各国の教育改革に役立てようとするものであるが、これが国際的な関心を高め、大変成功したため、OECDでは高等教育でも学習成果の評価をしようというAHELO (Assessment of Higher Education Learning Outcomes) という事業が進んでいる²³。PISAが知名度の高まりとともに国際コンテストのような様相を呈してきたこともあり、AHELOは少し慎重な姿勢で進んでいるということである²⁴。ここで問題なのは、国際比較する「学力」の中身である。これはヨーロッパ流に専門教育だけとするべきではなく、リベラルアーツも指標として大事だと主張されたが、ヨーロッパではリベラルアーツは学部では提供されないため、「一般的・汎用的能力—ジェネリック・スキル」を比較しようということにすり替わってしまった²⁵。

イギリスの下院の Education & Skills Select Committee において、2006 年 11 月にジェネ

リックスキルに関する提言“Post-16 Skills”がでされたが、それに対して 2007 年 1 月に英国の業界連盟 CBI (Confederation of British Industry) は答申を提示している²⁶。産業側は新卒業労働者のジェネリックスキルは仕事や人生への幅広い適用が可能という意味で汎用的かつ必要不可欠とみなされているから、ジェネリック・スキルにかんする大学教育の改革を求めている²⁷。

米国では学士課程の教養教育 (general education) を巡って長く論争が続き、1984 年から 94 年までの 10 年間に研究者の側から様々な批判と改革への提案がなされてきた。本来、多義的な意味を持つ「教養」の獲得を趣旨とする教養教育(liberal education)を、米国大学協会 (Association of American College and Universities)では、「個人を力づけ、無知から精神を解き放ち、社会的責任を培う教育理念」と定義し、さらに一般教育 (general education) を「すべての学生が共有する教養教育カリキュラムの一部分。多様な学問領域に広く触れさせ、重要な知識人および市民としての能力を高める基盤を形成する」ものとして位置づけている。Johnson と Ratcliff (2004)は、21 世紀初頭の現在のいまでも、一貫性のあるカリキュラムを構築することは、大学における教養教育に残された大きな課題であると指摘した²⁸。

次に、日本の大学における教養教育改革の現状を考察する。1991(平成 3)年には、大学設置基準の大綱化によって、教授科目区分としての「一般教育」科目の開設義務が設置基準から消え、その結果ほとんどの大学において、一般教育カリキュラムの大幅な改編が行われ、それと平行して教養部の改組・解体が行われた²⁹。2000 年の答申『グローバル化時代に求められる高等教育のあり方について』では、新たな教養教育の在り方を考慮した教育の推進が求められるとして、高い倫理性と責任感を持って判断し行動できる能力の育成、自らの文化と世界の多様な文化に対する理解の促進、外国語によるコミュニケーション能力の育成、情報リテラシーの向上、科学リテラシーの向上といった、教育内容にまで立ち入った提起がなされている³⁰。2005 年 1 月中教審大学分科会答申『我が国の高等教育の将来像』では、「思考力・判断力のための一般的知識」や「知的能力」の育成・発展などは、審議会答申における「創造的教養教育」において主に担われるものと答申が位置づけていることを意味している³¹。

以上のように、世界の動向から見ると、それぞれの国では、大学教育および教養教育の改革、またはこれらに関連する学士力、人材育成のなどの改革が重視されていると考えられる。今後の大学教育、教養教育のあり方についての考察が必要であると考え。そこで、現在中国における大学教育または教養教育の位置づけについての考察を行う。まず、政府側からの要求を論じ、次には社会企業からの要求を考察することとする。

3-2 政府からの要求

1994 年の初めに中国政府(教育部)は『面向 21 世紀高等教育教学内容和课程体系改革計画』を制定した。それに基づき、各大学は①21 世紀の社会人に必要な人材像と人材養成方式の探索、②各専攻あるいは学科分野の教育目標および人材育成の目標の規定、③主要専攻及び学科分野のカリキュラム構成、④基礎科目、核心科目の教育内容を及び教科書の編成、⑤教育手段、教育方法の改革などに関する研究課題を申請し、許可された課題は 2 年以上の試行を行った上で

研究成果を報告書にまとめ、評価を受けることになっている³²。1999 年の国務院の『教育改革を深め、全面的に素質教育を推進する決定』発行の以降、全国の大学では通識教育が行われている。

2012 年の教育部・財政部からの政策『高等教育機関における創造力(イノベーション)を向上する計画に関する意見』(中国語原語：教育部 財政部关于实施高等教育学校创新能力提升计划的意见)³³により、各大学が積極的にコラボレーティブ・イノベーションを促進し、高等教育機関、科学技術、経済、文化の有機的な統合を促進し、高等教育機関のイノベーション能力を促進し、イノベーションをもっている国の建設を支援し、大学イノベーション能力計画を実施することが決定された。(2011 プランと呼ばれている)。

そして、『2013 年の中国教育部高等教育司における要点』(中国語原語：教育部高等教育司 2013 年工作要点)³⁴によれば、全面的に人材育成モデルの改革が行われている。その中で、国、地方、大学レベルでは人材育成モデル改革の推進、大学や研究機関の推進、人々を教育業界のエンタープライズ・コラボレーションを確立し、改善する。良い基盤の分野の学生にパイロットスキームを実装していき、トップ創造的な才能を探索し、改革の突破口を探り、個別モデルを探求し、国際的な一流の学生の選抜方法を推進して、新しいメカニズムを探る。さらに、優秀なエンジニアの教育・研修を継続的に実施し、産業部門と共同で実施する。そこで、大学では新しい人材育成モデルを探求しなければならない。そこで、政府の要求を答えて、中国では各大学は新しい人材育成モデルを模索し、大学教育の改革、特に教養教育の改革が進んでいる。

3-3 社会企業からの要求

現在の中国の企業が求める「人材像」を分析し、それらの要求を通じて、大学の教養教育の必要性を指摘する。

北京工商大学の研究成果(2010)より、その『企業質問調査』からみれば、80%の企業が卒業生を採用する際に、学歴と技術が重視されているが、学歴や技術だけでは不十分だと認識されており、それら以外の「道徳」の要素が募集標準のトップになっている³⁵。また、『大学生質問調査』から見ると、多くの大学生は専門能力(49. 2%)、コミュニケーション能力(43. 2%)、対応力(41. 4%)、心理素質(32. 6%)、リーダーシップ(15. 8%)などが仕事を見つけるための必要なスキルと考えている³⁶。

現在の企業においては、ただ専門的な知識・スキルを得ているだけでなく、汎用的なコミュニケーション能力、変化への対応力、心理素質、リーダーシップなどの能力が重視されている。それらに比べ、大学教育の人材育成の改革と教養教育重視の要求が高まっていることが明らかになった。

3-4 現在の大学教養教育の位置づけ

現在の中国の高等教育への進学率は 22%以上に上昇しており、学生の入学数は、25 万人に拡大している。2004 年に高等教育機関から卒業生の数は 500 万人に達成し、その中で学士学生数は 240 万人である³⁷。そこで、マーチン・トロウが提唱した高等教育の発展段階説による

と、22%という進学率が、「マス」への高等教育の段階移行の指標とされている。この仮説に従えば、中国の大学教育は、「マス」の段階に移行したことになる。

このような高等教育の背景に基づき、上述したように現在政府からの政策により、中国の高等教育のイノベーション能力を促進し、新しい人材モデルを探求し、国際的な一流大学を建設し、国際的な一流学生を育成するため、大学教育カリキュラム、特に教養教育の改革が注目されている。現在企業界からの要求を答え、大学生の専門以外の能力、例えば、コミュニケーション能力、変化に対応力、心理素質、リーダーシップなどの必要性が強調されている。それらの能力を確保するため、大学教育内容、または教養教育の重要性が提言されている。

政府側と企業側の要求に応じて、現在中国の大学教育、特に教養教育の改革が行われている。2005年から、北京大学通識教育カリキュラムの改革および元培学院の創設、復旦大学の復旦学院、中山大学の博亜学院、南京大学の匡亚明学院、浙江大学的竺可贞学院などのそれぞれの新しい学院がでてきた。その中で、大学学士課程教育と教養教育カリキュラム実施する体制の改革が行っている。

おわりに

本論では、現在の中国の大学では教養教育の位置づけを明らかにするため、大学教養教育の変遷を考察した。そのうえで、伝統的文化と西洋からの影響二つの側面から、教養教育の理念を探求した。すなわち、中国伝統的文化において、儒学思想および「君子」を育成する思想、または西洋からの影響のなかで、米国の一般教育の理念から現在中国の大学教養教育の理念が構成されている。最後に、現在世界の大学教育の改革の動向を考察し、中国政府からの政策、社会企業から大学教育への要求を検討した。それらを答え、現在中国の大学では、新しい人材モデルを探求し、大学教育内容の改革、教養教育の改革がなされなければならない、としている。したがって、現在中国の大学では、教養教育がどのように実施するか、具体的には教養教育が成功裏に実施されるための方法と戦略を開発することが、今後大学教育研究に求められている課題となる。

注

¹ 北京大学には「元培（ユアンペイ）学院」という特別選抜コースがある。思想家の蔡元培^{さい}にちなんだ名前で、定員は150～200人。各種試験の上位者から選拔され、特定の学部学科には所属せず、一般の学生のような履修規定もない。専攻を決めるのは3年次（一般学生は入学時）。北京大学元培学院のエリート教育 <http://tyamauch.exblog.jp/16063421/> 2012年5月2日登録

² 楊東平『難しい日の出：20世紀の中国の近代教育』文匯出版社 2003年 pp.1-113

³ 中国最初の近代教育の学制「欽定学堂章程（壬寅学制）」は施行されなかったため、中国で初めて施行された学制は「欽定学堂章程」を基礎に改訂した1904年公布の「奏定学堂章程」、一般的には「癸卯学制」と呼ばれる。

<http://youmei.asablo.jp/blog/2008/02/15/2632643> 2012年6月25日登録

- 4 楊東平『難しい日の出：20世紀の中国の近代教育』文匯出版社 2003年 p.51,引用蔡元培『北京大学月刊』1928年11月10日
- 5 楊東平『難しい日の出：20世紀の中国の近代教育』文匯出版社 2003年 p.53,引用梅貽琦「大学一解」『清華大学学報』vol.30(1) 1941年
- 6 楊東平『難しい日の出：20世紀の中国の近代教育』文匯出版社 2003年 pp. 119-179
- 7 同上 pp. 180-224
- 8 同上 pp. 231-309
- 9 黄福涛「第9章 大学のカリキュラム」『RIHE』81 2005年 p.106
- 10 史朝「第1章中国高等教育機関の位置づけと発展の特徴」(1990年代以降の中国高等教育の改革と課題)『RIHE』81, p.10, 2005年3月
- 11 陳学飛先生講演会の記録「中国における世界一流大学の育成に関する政策プロセス分析—大学と政府との協力—」『CRDHE Working Paper』vol.2 東京大学 大学総合教育研究センター 2005年5月 p.4
- 12 Donghui Zhang, (2012) “Tongshi Education Reform in a Chinese University: Knowledge, Values, and Organizational Changes”, *Comparative Education Review*, Vol.56, No.3, p. 395
- 13 陈向明等著 大学通识教育模式的探索-以北京大学元培计划为例 北京:教育科学出版社, 2008, 3 p.56
- 14 同上。
- 15 教育思想事典 教育思想史学会篇 勁草書房 2001年 p.268
- 16 同上。
- 17 同上。
- 18 Donghui Zhang, (2012) “Tongshi Education Reform in a Chinese University: Knowledge, Values, and Organizational Changes”, *Comparative Education Review*, Vol.56, No.3, p.395
- 19 楊東平『難しい日の出：20世紀の中国の近代教育』文匯出版社 2003年 p.51,引用蔡元培『北京大学月刊』1928年11月10日
- 20 楊東平『難しい日の出：20世紀の中国の近代教育』文匯出版社 2003年 p.53,引用梅貽琦「大学一解」『清華大学学報』vol.30(1) 1941年
- 21 一般教育カリキュラムの改革モデル——哲学的立場の多元性を背景として——,大学教育研究の課題：改革動向への批判と提言,一般教育学会編,玉山大学出版社,1997,p.296
- 22 同上。
- 23 瀧澤博三「各国の高等教育の新潮流 第53回公開研究会の議論から」,『アルカディア学報(教育学術新聞掲載コラム)』,No.495, <http://www.shidaikyo.or.jp/riihe/research/arcadia/0495.html> 2013年3月27日登録
- 24 同上。
- 25 同上。
- 26 河村基「第Ⅱ部 デアリング報告に基づく英国の高等教育改革の進捗状況等に関する実態,第4章産業界のジェネリックスキル育成に対する評価」『英国における高等教育改革動向』2008年, http://benesse.jp/berd/center/open/report/oubei_19/index.html 2012-7-24登録 p. 198
- 27 同上
- 28 D. Kent Johnson, James L. Ratcliff. *Creating Coherence: The Unfinished Agenda New Direction for Higher Education*, 2004(125).6 p88
- 29 青山佳代「名古屋大学における「一般教育」カリキュラムに関する歴史的考察—教養部発足から教養教育院の創設にいたるまでのカリキュラムの変遷に注目して—」 pp. 22-23
- 30 絹川正吉, 館昭 編著『学士課程教育の改革』東信堂出版社, 2004年, p.11
- 31 飯吉弘子,『戦後日本産業界の大学教育要求—経済団体の教育言説と現代の教養論』東信堂出版社, 2008年, p.369から参考した。
- 32 黄福涛「1990年代後半の中国における学士課程カリキュラムの構造：日中比較の視点から」『大学論集』 31, pp.145-158, 2001-03
- 33 教育部,「高等教育機関における創造力を向上する計画に関する意見」(中国語原語：教育部 财政部关于实施高等学校创新能力提升计划的意见), 2012, <http://www.dost.moe.edu.cn/20120602110255>, 2013年3月27日登録

-
- ³⁴ 教育部, 2013 年中国教育部高等教育司における要点, 2013,
http://www.moe.edu.cn/publicfiles/business/htmlfiles/moe/moe_745/201301/147378.html 2013
年 3 月 27 日登録
- ³⁵ 北京工商大学, 企業採用要求及び大学生の素質,
<http://xjc.bjedu.gov.cn/publish/portal0/tab216/module771/info5010.htm> 2013 年 3 月 27 日登録
- ³⁶ 同上。
- ³⁷ Michael Gallagher, Abrar Hasan, Mary Canning, Howard Newby, Lichia Saner-Yiu and Ian
Whitman, OECD Reviews of Tertiary Education CHINA, 2009, p.6

Defining General Education at Universities in China

Yuanyuan SHI

This paper attempts to clarify how general education at Chinese universities has been defined currently. Specifically, it includes the stream, the ideal of general education in China, the international trends of general education's reforms, and the demands for higher education from Chinese government and the social enterprise.

Firstly, from the historical view, the stream of general education at Chinese universities should be divided into five periods. They include "established period of modern higher education" (1898-1949 years); "introductory period of the former Soviet Union" (1949-1957 years); "Mao Zedong education's policy and the Cultural Revolution period" (1965-1978 years); "transformation period of the socialist market economy" (1978 -1990 years); "the period of higher education in the 21st century" (1990 -now).

Secondly, the ideal of current general education at Chinese universities impacted by both the Chinese educational tradition and the western thought of general education. The Chinese educational tradition, especially the classical Confucian, it emphasizes a broad range learning. And the western thought of general education which originated in European and flourished in US.

Thirdly, the international trends of general education's reforms all over the world are paying attention to the generic skills and the necessities of the reforms of general education in universities.

Fourthly, the demands for higher education from Chinese government and the social enterprise are urgently. Both of them need the reforms of general education at universities in China.

As a conclusion, it can be seen that current reforms of general education at Chinese universities are influenced by the demanded from the Chinese government and the social enterprise locally, and also the international trends of general education's reforms globally.